

Ⅲ 石巻市環境基本計画の令和5年度実績点検・評価結果（環境目標・指標）

基本目標	No.	施策の分野	指標	指標項目	基準値 (平成26年度)	目標値 (令和7年度)	令和4年度 結 果	令和4年度 評 価	令和5年度 結 果	令和5年度 評 価	備 考
1 多様な自然との共生	1	(1) 自然環境	総合指標	「多くの自然や生物に恵まれている」といった自然環境の満足度	47.3%	60.0%	76.5%	5	70.3%	5	
	2		環境指標	森林面積	31,170ha	現状維持	30,824ha	3	30,845ha	4	
	3		環境指標	農用地面積	9,320ha	現状維持	9,680ha	5	9,480ha	5	
	4		環境指標	市内で生息等が確認されたことのある動植物のうち国や県の重要な種数	378種	現状維持	378種	—	378種	—	評価対象から除外
	5		取組指標	松くい虫対策事業による伐倒駆除率	97.1%	100.0%	76.3%	3	99.3%	4	
	6		取組指標	ニホンジカ捕獲数	1,396頭/年 (石巻市及び女川町区域内)	1,700頭/年 (石巻市及び女川町区域内)	2,983頭/年	5	2,470頭/年	5	
	7		取組指標	間伐事業整備面積（国有林を除く）	267.82ha	415ha	791ha	5	417.28	5	
	8	(2) 都市環境	総合指標	「公園などの緑が豊かだ」といった都市環境の満足度	31.8%	50.0%	59.1%	4	52.7%	5	
	9		環境・取組指標	1人当たり都市公園面積	8.7㎡/人	16.0㎡/人	13.4㎡/人	4	15.8㎡/人	4	
	10	(3) 地域景観	総合指標	「農地の緑が豊かだ」といった田園風景の満足度	55.4%	70.0%	77.5%	4	72.2%	5	
	11			「街並みが美しい」といった都市景観の満足度	12.9%	30.0%	25.0%	3	21.8%	3	

Ⅲ 石巻市環境基本計画の令和5年度実績点検・評価結果（環境目標・指標）

基本目標	No.	施策の分野	指標	指標項目	基準値 (平成26年度)	目標値 (令和7年度)	令和4年度 結 果	令和4年度 評 価	令和5年度 結 果	令和5年度 評 価	備 考	
2 環境負荷の低減	12	(1)大気環境	総合指標	「空気がきれいだ」といった大気環境の満足度	55.3%	70.0%	57.9%	3	59.2%	3		
	13			大気環境に係る苦情処理割合	100.0%	100.0%	100.0%	5	100.0%	5		
	14		環境指標		二酸化硫黄（SO <sub>2</sub> ）の環境基準達成率	100.0%	現状維持	100.0%	—	100.0%	—	評価対象から除外
	15				浮遊粒子状物質（SPM）の環境基準達成率	100.0%	現状維持	100.0%	—	100.0%	—	評価対象から除外
	16				二酸化窒素（NO <sub>2</sub> ）の環境基準達成率	100.0%	現状維持	100.0%	—	100.0%	—	評価対象から除外
	17				航空機騒音の環境基準達成率	100.0%	現状維持	100.0%	5	100.0%	5	
	18				自動車騒音の環境基準達成率（測定箇所平均達成率）	86.2%	95.0%	96.4%	5	99.7%	5	
	19				取組指標		航空機騒音監視体制の整備（固定局数）（累計）	0局	3局	3局	—	3局
	20		E V（電気自動車）の導入台数（累計）	0台			12台	2台（累計13台）	5	1台（累計14台）	5	
	21		(2)水環境	総合指標		「河川の水がきれいだ」といった水環境の満足度	21.7%	40.0%	37.9%	3	35.5%	3
	22	「海の水がきれいだ」といった水環境の満足度				21.7%	40.0%	43.2%	4	38.0%	3	
	23	環境指標			河川におけるBODの環境基準達成率（達成箇所数）	7箇所中6箇所	7箇所中6箇所	7箇所中7箇所	5	7箇所中7箇所	5	
24	海域におけるCODの環境基準達成率（達成箇所数）				21箇所中10箇所	21箇所中11箇所	20箇所中12箇所	4	20箇所中10箇所（50%）	3		
25	取組指標			下水道処理区域内の水洗化率	73.8%	81.1%	78.1%	3	78.8%	3	令和4年度から計算方法見直し。昨年度までの計算では、R7目標値 84.75%	
26	(3)その他の環境負荷	環境・取組指標			アスベストに係る規制基準達成率	100.0%	現状維持	—	—	—	—	実績がないため評価対象外
27			ダイオキシン類（大気）に係る環境基準達成率		100.0%	現状維持	100.0%	5	100.0%	5		
28			ダイオキシン類（水質）に係る環境基準達成率		100.0%	現状維持	—	—	—	—	実績がないため評価対象外	

Ⅲ 石巻市環境基本計画の令和5年度実績点検・評価結果（環境目標・指標）

基本目標	No.	施策の分野	指標	指標項目	基準値 (平成26年度)	目標値 (令和7年度)	令和4年度 結 果	令和4年度 評 価	令和5年度 結 果	令和5年度 評 価	備 考
3 循環型社会の構築	29	(1) 廃棄物	総合指標	一般廃棄物の埋立処分量	6,688t	5,154t	6,929t	3	4,572t	4	
	30		環境・取組指標	1日1人当たりの生活系ごみ排出量	785g	698g	749g	2	706g	4	
	31	(2) リサイクル	総合指標	リサイクル率	13.9%	14.9%	9.7%	3	10.0%	3	
	32		環境指標	収集・直接搬入による資源化量	5,586t	5,198t	4,775t	3	4,395t	3	
	33			集団回収による資源化量	839t	682t	220t	2	212t	3	
	34		取組指標	再生資源集団回収報奨金交付団体数	117団体/年	130団体/年	58団体/年	2	56団体/年	3	NO.33で一括評価
	35			資源回収実施団体による実施回数	459回/年	520回/年	224回/年	2	216回/年	3	NO.33で一括評価
4 脱炭素社会の実現	36	(1) 地球温暖化	総合指標	市域の二酸化炭素排出量	1,369千t-CO2 (平成24年度値)	968千t-CO2	1,121千t-CO2 (令和2年度)	5	1,104千t-CO2 (令和3年度値)	2	令和5年度より目標値変更。 従来目標：1,166千t-CO2
	37		環境・取組指標	地球温暖化防止に関する普及啓発事業の実施回数	1回	5回	2回	2	2回	2	
	38			雨水利用タンク普及促進事業補助金交付件数（累計）	50件/年	400件	262件	3	279件	3	
	39	(2) エネルギー	総合指標	太陽光発電システム年間発電量（補助対象分累計）	10,754千kWh	28,500千kWh	21,367千kWh	3	22,202千kWh	3	
	40		環境・取組指標	太陽光発電システム補助件数（累計）	2,290件 (～平成26年度)	5,500件	4,201件	3	4,337件	3	NO.39で一括評価
	41			蓄電池補助件数（累計）	67件 (～平成26年度)	1,000件	946件	4	1,135件	5	
	42			HEMS（家庭用エネルギー管理システム）補助件数（累計）	107件 (～平成26年度)	750件	516件	3	549件	3	
5 環境市民の育	43	(1) 環境教育	環境・取組指標	環境市民育成講座受講者数	10人/年	90人/年	93人/年	5	92人	5	
	44			こどもエコクラブの加入グループ数	8団体	40団体	5団体	2	6団体	2	
	45	(2) 環境保全活動	環境・取組指標	花いっぱい運動参加団体数	111団体	150団体	138団体	4	143団体	4	

### Ⅲ 石巻市環境基本計画の令和5年度実績点検・評価結果（リーディングプロジェクト）

No.	回答課	事業名	事業内容	令和5年度の実績内容	令和4年度 評価	令和5年度 評価
1	環境課	生物多様性地域戦略推進事業 (令和3年度から)	本市には、海、山、川などの多様な自然環境があります。そこに生息・生育する様々な種類の動植物が、自然を介して他の生物との間に様々な関わりを持っている状態を生物多様性といい、これが維持されていることで、私たちは自然から様々な恵みを受けています。しかし、私たちはこれまで大規模開発や生物資源の乱獲などによって自然環境を破壊し、その結果、生態系の損失や種の絶滅、外来種の侵略など様々な問題が明らかになっています。また、東日本大震災では地震による地盤沈下や津波により、沿岸部の市街地や集落、自然環境が一変しました。こうした自然環境の喪失を踏まえ、持続可能な人と自然との関係を整理し、自然の恵みを将来世代に引き継ぐことを目的として、「生物多様性地域戦略」を策定し、推進します。	令和5年度は、環境市民講座において例年6回の開催を7回開催することができ、海・山・川における自然環境について市民が学ぶことができる機会を設けることができた。 また、令和5年度は、猿や熊、猪の目撃が相次ぎ、環境課等に多くの市民から不安の声が寄せられた。 そのため、令和5年度の環境フェアにおいては、市民の野生動物への誤った認識を少しでも払拭するため、石巻市の野生動物について長年研究している石巻専修大学辻教授に講演を依頼した。石巻市の自然と動物の暮らしについて、楽しく、わかりやすく講演していただき、本市の豊かな自然環境を将来世代に引き継ぐ重要性について周知することができた。	3	4
2	環境課	航空機騒音対策事業 (平成28年度から)	本市は航空自衛隊松島基地が位置する東松島市に隣接し、航空機の離着陸経路の下に位置していることから、騒音の影響を受けています。 航空機の騒音は本市の環境において大きな問題であることから、市は、騒音測定・分析の充実をさせるとともに、測定データに基づく国への要望を行っていきます。また、影響の少ない地域の住民に対しても問題提起や周知を行い、全市的な環境問題として喚起を促進します。	令和5年度は、市が設置している固定局3局において、航空機騒音の通年測定を実施した。測定結果については、環境白書や市ホームページへ掲載したほか、石巻市航空機騒音対策連絡協議会委員へ資料配布し、広く周知を図った。	—	—
3	廃棄物対策課	ごみ減量化推進事業 (平成28年度から)	ごみの減量化対策は、市民、事業者、行政が連携して推進していかなければならない問題であります。現在、石巻市一般廃棄物処理基本計画で削減目標を掲げ、多様化するごみ処理行政のあり方に対して適宜施策を講じていますが、本市のごみに関する状況は厳しいものがあります。そのため、実践につながりやすい情報提供や出前講座等の環境学習メニューを充実させるとともに、自治会等と連携しながら分別指導を行い、地域に根ざした、ごみ減量化・リサイクル活動を推進する等の減量化に取り組みます。また、不燃物中間処理施設の建設など、ごみの減量化に係る各種課題の実現性を具体的に検討するとともに、プラスチック製容器包装の分別回収によるリサイクルの充実やごみ排出抑制など新たな対策を検討します。	市内の一部モデル地区においてプラスチックの分別収集の実証事業を実施し、今後の市内全域でのプラスチック分別収集に向けた参考データを得ることが出来た。 今後も実証事業及びその他の調査研究より、本市がプラスチックごみの分別収集による再資源化を実施した場合、従来の焼却処理に比べ、CO2排出量の削減が図られる結果が得られたことを踏まえ、早期実施に向けた検討を継続していく。	3	3

【5段階評価】「5:十分に取組まれている」、「4:かなり取組まれている」、「3:ある程度取組まれている」、「2:あまり取組まれていない」、「1:取組まれていない」

### Ⅲ 石巻市環境基本計画の令和5年度実績点検・評価結果（リーディングプロジェクト）

No.	回答課	事業名	事業内容	令和5年度の実績内容	令和4年度 評価	令和5年度 評価
4	環境課	再生可能エネルギー 導入推進事業 (平成28年度から)	本市では、太平洋に面し日照時間も長いことから太陽光発電に適した地域特性を活かし、太陽光発電システムの普及促進に努めてきました。今後は、再生可能エネルギーを活用した「脱炭素社会」の実現を目指し、「石巻市SDGs未来都市計画」も踏まえて、事業を進めていきます。また、本市でも一定規模の賦存量が見込まれる風力エネルギーやバイオマスエネルギーなどの再生可能エネルギーについても、導入の可能性について検討を進めます。	太陽発電システムや蓄電池システム、HEMSを設置した市民に対し、設置補助を行い、太陽光発電システム等の設置を促すことで、二酸化炭素の排出を抑制し、地球温暖化対策に貢献した。	3	4
5	環境課	環境教育モデル形成 事業 (平成28年度から)	子どもへの環境保全教育はますます重要性を増してきており、地域の実情に合った環境教育の推進に関する方針の策定などが求められています。また、これまで実施してきた「自然環境確認調査」の結果など地域の環境情報を踏まえた、具体的な環境教育の教材やプログラムの開発も必要となります。このため、教育委員会や環境関係団体と連携し、小学校・中学校において必要な環境教育のあり方及び内容について検討し、今後の本市における環境教育モデルを形成します。	酸性雨モニタリング調査は、中学生を対象に、雨のpH値（酸性、アルカリ性を示す値）を測定し、大気汚染の現状を把握することで大気汚染や環境保全を身近な問題として考えるとともに、地球環境問題への意識を高めることを目的とし、6校の中学校で19人の生徒が参加した。酸性雨調査については例年どおり実施したものの、環境教育モデル形成事業については実施できていない。	3	2